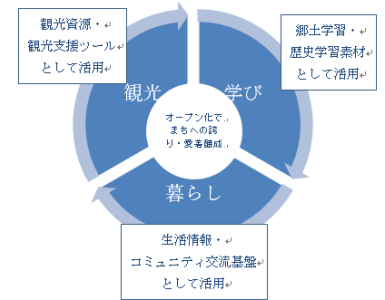


安土 えき・まち マッピングプロジェクト

～オープンストリートマップを用いた世界で一つの安土地図～

※やりたいこと

地元で生まれ育ち長年生活をされてきた住民しか知らない情報や、観光情報誌にも載っていない地域の見どころや情報など、地域の多岐にわたる情報を市民が主体となってアーカイブ化し誰でも活用可能なデジタルツールとしてオープンストリートマップ等のICTツールを活用してオープン化し、市民・移住者・観光客等へ情報発信を行うことが出来るプラットフォームづくりと持続可能な活動組織づくりを行う。



※その理由

駅周辺には古い町並みや文化財、湧き水や船着場だった親水空間などの地域資源が多く、地元住民しか知らない情報や古写真も数多くあるが、説明を気軽に聞くことも出来ず次世代に伝える手立てがなく、今後過去の出来事や風景を知る人たちが徐々にいなくなっている。安土の風土・文化の伝承、また、駅周辺に新しい人の流れを創り出すため、四季折々のビュースポット等地元住民しか知らず観光情報誌にも載っていない地域のニッチな情報、駅を起点とした安土城跡をはじめとする文化財へのアクセス方法を市民自らの手で、市民・移住者・観光客等へ発信・アーカイブ化を行う必要がある。そのための手法として、オープンストリートマップ等のICTツールを活用したオープン化に取り組むこととした。



昭和30年代の安土駅



昭和50年代の安土駅

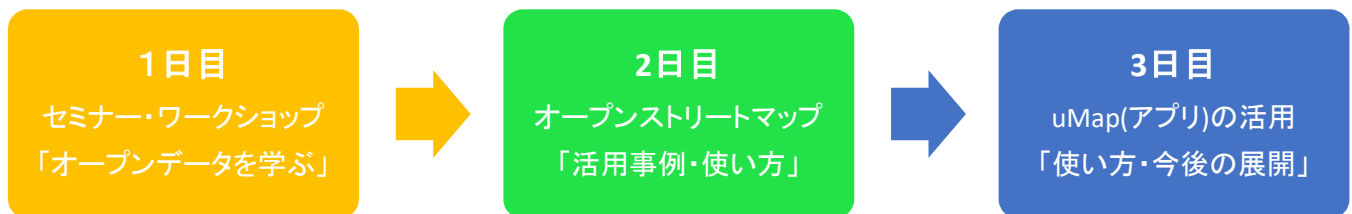
※実現の流れ

STEP1: 検討会開催(9月)

市民、安土町商工会、まちづくり会社、市役所等により検討会を開催しオープンストリートマップを活用したオープンデータを自分たちでつくることを決めた。

STEP2: 実証実験・実地研修(11月)

オープンストリートマップを取り入れることの準備として、11月10日～12日の3日間で総務省「地域情報化アドバイザー派遣制度」を活用してアイデアを具体化するイベントを開催した。



■成果

- ・オリジナル地図「あづマップ」を作る事が出来た。
(https://umap.openstreetmap.fr/ja/map/map_179098#15/35.1458/136.1312)
- ・参加者同士で今後の継続していくための方法を考え、今回の活動を継続していく方向性を確認した。

STEP3: 活動の継続(12月・1月)

上記3日間のセミナーから継続した取り組みにしていけるためにセミナー参加者や主要メンバーで今後につなげていくためのワークショップを開催し活動を継続していく。

12月13日、「安土 えき・まち マッピングプロジェクト」のミーティング...世界でひとつの安土地図をつくるための具体的なアクションについて、打合せ

2018年1月13日にフィールドワークを行い地図のコンテンツ強化を図る予定...現在、市民を中心に参加者を募集中